

2011年度

科目名	中国語Ⅱ		
担当教員	井戸 有紀		
配当	人社2(3311)	コード	23037
開期	通年	講時	火曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	日本語と違った中国語独特の発想と表現を学ぶ。中級レベルの「生きた中国語」を身につけるとともに、その喜びを味わう。		
目的と概要	中国語Ⅰで学習した基礎知識を活用しつつ、新しい文法及び表現等について「読む」「書く」「聞く」「話す」の力をバランス良く訓練することで、実際にコミュニケーション手段として通用する中国語を身につけることを目指します。また、中国の生活習慣や文化等の紹介も取り入れることにより、言語の背景にある中国語圏の世界にまで興味を広げ、中国語をより身近なものとして受け入れられるようにします。		
成績評価法	筆記試験70%、平常点30%(講義内の小テスト・質疑応答・予習状況等)。		
テキスト	『《新版》中国語さらなる一步』(白水社)		
参考書	各自中国語Ⅰで使った初級テキスト。(復習・確認用) 辞書は少なくとも中日辞典を持っていることが望ましい。(書籍・電子辞書どちらでも可) 詳しくは講義中に指示します。		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	自宅での予習/復習/音読練習は不可欠です。 予習(次に習うところを音読し、書き写し、日本語に訳す。宿題をする。) 復習(習ったところで不明な点を質問する。文字/音声の両方で記憶を定着させる。) 音読練習(付属のCDをなんども聞いて真似する。本文を暗唱する。) 積極的な態度で受講することも大切です。私語・悪ふざけ・暴言・カンニング等、学生としてあるまじき授業妨害の行為は絶対に行わないで下さい。受講停止等、厳しく対処します。		
講義計画			
1. 導入	中国語概説・発音の復習・初回アンケート		
2. 第一課	助動詞「可以」「要」・主述述語文・目的語が主述句の文		
3. "	" (応用練習)		
4. 第二課	理由の表現・逆接・語気助詞		
5. "	" (応用練習)		
6. 第三課	連動文・「是…的」の構文・どのように?		
7. "	" (応用練習)		
8. まとめ	第一～三課のチェック		
9. 第四課	「了」の3用法・副詞「就」		
10. "	" (応用練習)		
11. 第五課	結果補語(1)・副詞「有点儿」・仮定表現		
12. "	" (応用練習)		
13. 文化紹介	中国映画鑑賞		
14. 発音	発音の確認		
15. まとめ	第四～五課のチェック		
16. 第六課	存現文・主語がフレーズの文・同時表現		
17. "	" (応用練習)		
18. 第七課	持続のAspect・副詞「再」・部分否定		
19. "	" (応用練習)		
20. 第八課	方向補語・使役・疑問詞の不定用法		
21. "	" (応用練習)		
22. まとめ	第六～八課のチェック		
23. 第九課	可能補語・強調表現		
24. "	" (応用練習)		
25. 第十課	目的の表現・推測		
26. "	" (応用練習)		
27. 文化紹介	中国映画鑑賞		
28. 発音	発音の確認		
29. まとめ	第九～十課のチェック		
30. 総括	今後の学習について・学習アンケート		